

富山市教育委員会会議録
令和7年8月定例会

1 日 時 令和7年8月27日(水曜日)

午後 1時30分 開会

午後 3時10分 閉会

2 場 所 Toyama Sakura ビル8階 教育委員会室

3 出席委員	教 育 長	宮 口 克 志
	委 員	若 林 啓 介
	委 員	藤 井 久 丈
	委 員	高 田 健
	委 員	石 動 瑞 代

4 説明のために出席した者

事務局長	野 嶽 誠 司
事務局次長（総務・社会教育担当）	高 田 興 真
事務局次長（学校教育担当）	河 原 弘 幸
事務局参事（施設管理担当）	佐 伯 誠 司
教育総務課長	竹 内 孝
学校再編推進課長	山 崎 悟
学校施設課長	高 波 宏 明
学校教育課長	大 窪 智恵子
学校保健課長	舩 田 恵 美
生涯学習課長	加 藤 孝 一
教育センター所長	山 岸 朋 子
学校教育課（いじめ対策推進班長）	谷 畑 龍 平

5 職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課主幹	高 岡 太 郎
教育総務課長代理（管理係長）	塚 本 紘 己
教育総務課主任	福 島 魁 人

6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議 案

- 議案第37号 令和7年9月市議会定例会に付議する令和7年度補正予算案に対する教育委員会の意見について
- 議案第38号 工事請負契約締結（大久保小学校長寿命化改良（その1）工事）に関する教育委員会の意見について
- 議案第39号 令和6年度教育委員会事務管理執行状況点検評価報告書について

(2) 報告事項

- 報告事項20 令和6年度富山市一般会計継続費精算報告書について
- 報告事項21 市立公立学校におけるいじめ重大事態の市長への発生報告（4件）について
- 報告事項22 「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果について

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長] 7月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] （意見なし）
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

[教育長] 議案第３７号～３８号、報告事項２０は、９月市議会定例会に付議される案件であるが、市議会への議案説明がまだ行われていない。また、報告事項２１は、個人情報を含む案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 承認を得られたので、議案第３７号～３８号、報告事項２０～２１については非公開とし、報告事項２２の後に行うこととする。

【議案第３９号】

[教育長] 議案第３９号について、事務局から説明を求める。

[教育総務課長] （議案第３９号について説明）

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 採決を行う。議案第３９号、異議があるか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 異議なしと認める。よって議案第３９号については原案どおり可決した。

【報告事項２２】

[教育長] 報告事項２２について、事務局から説明を求める。

[学校教育課長] （報告事項２２について説明）

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[藤井委員] 記述式問題の正答率が低かったことについて、ＩＣＴ機器活用の影響はないか。また、中学校理科で実施したＣＢＴ試験を全ての教科で実施した方がいいと思う。調査結果には毎回、富山市・富山県・全国の平均正答率を記載し、ポイントが上か下かという比較をしているが、母数が少ない場合に偏差値のグラフを描くと、値の偏りや標準偏差の変動等の影響が出るので、ポイントのみで比較するだけでは不十分ではないかと感じる。統計学的に見た場合、この比較はどうなるのか。また、調査結果と各家庭や地域環境等の集団の特性は関係しているのか。

[学校教育課長] 富山市では一人一台端末が整備される以前から記述式問題の解答率は低い傾向がみられているため、ＩＣＴ機器活用が影響しているとは言い切れない。課題は自分の考えをまとめて文章で表現す

ることにあると捉えている。C B T試験方式については、令和8年度には中学校英語、令和9年度からは小学校・中学校ともに国語、算数・数学でも取り入れる予定である。平均正答率については、富山市としての課題がどこにあるのかを見つけるため、設問の区分ごとに記載しており、課題を見つけることにより児童・生徒の力をもっと引き出すことができるのではないかと捉えている。各学校には、学校ごとの平均正答率も連絡しており、自校と全国・富山県・富山市とを比較し、学習指導の課題や成果を分析している。調査結果と家庭環境や地域等の関係・関連についての検証は、現時点では行っていない。

[河原事務局次長]

記述式問題については、全国的に以前から課題があるといわれている。C B T試験を全教科で実施すると、今まで以上に学力の経年変化が見やすくなるので、詳細な分析に活用していきたい。平均正答率の集計結果は、過度な競争を煽らないために小数点以下を四捨五入していることが原因で1点の差が生じているとも考えられるが、謙虚に受け止めなければいけないと思っている。また、富山市では「児童生徒質問調査」の結果も非常に重要だと考えている。家庭生活や家庭学習の状況について、回答データのクロス集計を専用ソフトで実施し、特徴があるところを明らかにしている。

[藤井委員]

A I等の分析で、新たな発見があると思う。

[河原事務局次長]

家庭環境と学習面の相関関係は必ずあると思うので、詳細に分析し、見ていきたいと考えている。

[石動委員]

読む力の正答率が低い理由について、自分の言葉で表現する力が弱いだけでなく、問題をよく読んでいない場合や語彙力が低い場合など、個別的に複数あるのではないか。今回の小学校国語の中には、最後の問題で「もう一度読み返してまとめる」内容があり、面倒だと感じた子どももいたのではないか。このような手間のかかる問題に解答する力を伸ばすには、授業の中で「読み込むこと」を十分に取り入れたほうがよいのではないか。家庭学習だけに依存するのではなく、授業の中で意識的に取り入れなければ、すべての子どもに読む力を付けることは困難だと思う。

また、非認知能力のように数値で測定できない能力を、筆記試験の結果で評価することはできないのか。

[学校教育課長]

読む力は、授業で最も付けていかなければならない部分だと捉えている。教材や子どもの実態を捉えてどのような力を付けるのか、教員が意識して授業をデザインすることにかかっており、今まさに授業改善に取り組んでいる。富山市の課題である読む力の育成に関して、各学校には丁寧に伝わるように工夫していきたい。また、

調査結果を返す際、非認知能力のように数値として捉えられないことの評価も併せて返すことで、子どもたちが次の目標を持つことにつながると思う。その点についても教員に対して働きかけていきたい。

[河原事務局次長]

教育長が学校訪問をするときに「基礎や基本は子ども一人ひとり違うものなので、一概には言えない」と話される。個別最適な学びができるような授業改善を進めることで、読む力を付けることに繋がっていくと考えている。非認知能力のように目では見えないことについての評価は、担任自身が児童生徒一人ひとりを見つめて、その子に合った支援をしていくことが大事だと思うので、学校にも伝えていきたい。

[教育長]

児童生徒質問調査に「自分には、よいところがあると思う」という質問がある。児童・生徒が昨年と変わっているので一概には言えないが、児童生徒質問調査の結果から自己肯定感等が高まってきているという数値が見られる。富山市で行っている取組を引き続き行い、自尊感情等を育んでいきたい。

[若林委員]

中央教育審議会は、学校教育が直面している課題として「学習意欲の低下」を挙げているが、富山市の状況はどうか。

[河原事務局次長]

ある教科では、平均正答率が高いが「その教科が好きだ」と回答している割合は全国平均よりも低いという特徴がある。富山市教育委員会としては、原因がどこにあるのかを分析する必要があると考えている。

[若林委員]

理科や算数・数学に関して女子と男子を比較した場合、「女子は点数は高いが教科が好きという割合は低い傾向がある」というアンコンシャス・バイアスは富山市でも存在しているのか。

[学校教育課長]

分析はできていないが、子どもたちへの支援の方策を探るため、そのような新たな視点でも捉えていくことが大切だと思う。

[石動委員]

児童生徒質問調査にある「授業での活動5」及び「家庭学習11」について、「当てはまる」及び「できている」と回答する割合を半分程度にしていく目標を設定してもよいのではないかなと思う。

[学校教育課長]

教育現場では今まさに協働的な学びの充実を目指している。各学校が目標数値を設定しているかどうかは定かではないが、具体的な目標をもって取組むことは非常に良いと思ったので、非認知能力の育みと結果が合致する形で取組めるよう働きかけを進めていきたい。

[教育長]

その他、質問等あるか。

[各委員]

質問等なし。

[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

《以下、非公開事項については、概要のみを記載する》

【議案第 37 号】※非公開案件（8 月 27 日時点、議案説明会開催前）

[教育長] 議案第 37 号について事務局から説明を求める。

[教育総務課長外] （議案第 37 号について説明）

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[藤井委員] 調理等業務委託費の中には食材費も含まれているのか。

[学校保健課長] 食材費は含まれていない。調理等業務委託の内容は、給食の調理、施設・設備の清掃と点検である。食材は学校給食会が調達している。

[藤井委員] 食材費が非常に高騰しているが、補正予算で要求する必要はないのか。

[学校保健課長] 今回の補正予算案は、調理等業務委託の期間が今年度末で終了する学校等について、令和 8 年度から 3 年間の契約をするための債務負担行為補正である。食材費を賄っている給食費は年額をすでに決定しているため、物価高騰の影響はあるが、食材を工夫するなどして対応するよう努力している。

[教育長] 食材の量や価格を考えると、学校給食で地元食材を利用することが難しくなっている。栄養価を考え、富山県内産に限らず比較的安価な食材を調達するように努めている。給食費は国の交付金を活用したうえで保護者に負担してもらっているが、2・3 月の調整額を引き上げなければならない状況が出てくるのではないかと考えている。

[教育長] その他、質問等あるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 採決を行う。議案第 37 号について、異議があるか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 異議なしと認める。よって議案第 37 号については意見なしとする。

【議案第 38 号】※非公開案件（8 月 27 日時点、議案説明会開催前）

[教育長] 議案第 38 号について事務局から説明を求める。

[学校施設課長] (議案第38号について説明)
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。
[教育長] 採決を行う。議案第38号について、異議があるか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第38号については意見なしとする。

【報告事項20】※非公開案件（8月27日時点、議案説明会開催前）

[教育長] 報告事項20について事務局から説明を求める。
[学校施設課長] (報告事項20について説明)
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。

【報告事項21】※非公開案件

[教育長] (報告事項21について事務局から説明を求める。)
[学校教育課長] (報告事項21について説明する。)

[教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。
[各委員] 質問等なし。

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。